

## 修士課程

### 死生学領域入試問題

わが国における自殺の死亡者数は 1997 年（平成 9 年）までは 2 万 5 千人前後で推移していましたが、1998 年突然 8500 人近く増え 32863 人になってしまいました。それ以降ずっと昨年まで 3 万人代が続いています。世界有数の自殺大国になってしまいました。政府も危機感を持ち、厚生労働省は 2001 年に自殺予防対策研究を開始し、2002 年には自殺防止対策有識者懇談会で「自殺予防に向けての提言」を発表し、2004 年には厚生労働省うつ対策検討会で自殺予防のための「うつ対策マニュアル」を策定しました。しかしそれらの対策も効果に乏しく 3 万人代が続いています。2006 年 6 月には自殺の総合的な対策を推進するために「自殺対策基本法」が制定されました。このような日本の深刻な自殺状況に関して以下の問に答えて下さい。

（字数制限はありません）

- 1) 自殺者数はなぜ突然 1998 年に急増し、そのまま 3 万人代が続いていると考えられますか。
- 2) 自殺率（10 万人対）では秋田県が 10 年連続一位を続けていま

- す。その原因は何だと考えられますか。
- 3) 自殺者の男女比はどのようになっていますか。それはどうしてそうなっていると考えられますか。
  - 4) 自殺率で日本より高い国々があります。それはどのような国々でどのような原因が想定されますか。
  - 5) イギリスやハンガリーでは自殺予防対策が奏効して、自殺率が減少しました。自殺予防としてはどのような事が有効と考えられますか。
  - 6) 自殺の原因にうつ病があります。うつ病と自殺について論述して下さい。
  - 7) 最近「いじめ自殺」ということが問題になっています。政府の教育再生会議でも種々議論されています。「いじめ自殺」が起きてきた原因と対策について論述して下さい。
  - 8) 昨年、平山正実氏は自死（自殺）遺族を支援する組織を全国組織としてまとめました。遺族に対してどのような支援が必要と考えられますか。